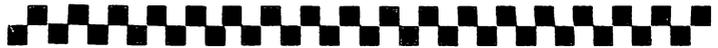


サロンのあべの

Vol.112

福祉機器のはなし

—自立に役立つ道具とは—



えして「福祉機器のはなし」自立に役立つ道具とは」と題して、障害者が自立生活していく上で何が大切かを話していただきました。

「ユーダ」の語源は、ユーザーを振って利用者の為の会社として、又、ポスト国際障害者年の活動として

Best help for Self help (自助のための最もよい助け) を追求し、誰もが自分の生き方を自分で決められる社会環境をつくりたいとの願いを持って平成四年四月に設立。

株式会社「ユーダ」は、福祉機器の提供だけでなく、住宅改造やその相談、福祉用具の修理等を中心として障害者の社会参加を目的に、障害者自身が必要とする道具や住宅設備に関する改造、開発等を手掛けている。

また、障害者の要望を満た

すだけでなく、障害者の職場を確保して生活できる収入を得ることも大きな目標になっており、四人の社員がいる。

今まで「福祉機器」と言われていた物は、障害者のための医療器具をイメージされていたが、現在は老人分野にも福祉機器の企業が加わり、福祉機器は福祉用具として一般にも広い範囲で受け止められるようになってきている。

しかし、障害者が福祉機器(車椅子や補装具等)を手に入れるためには、給付制度によるため認定医の判定が必要になっていく。判定が出てから業者に見積もりをしてもらい、その後発注。オーダーメイドになるから、出来上がるのは二、三ヵ月後になる。出来上がってきたも、その障害者にしっくり合っているかどうか判らない。障害者にも、それが自分自身にとってベス

サロン・あべの九月の出会い

台風十二号の余波で、あいにくの雨空になった平成七年九月十六日(土)午後一時〜四時、育徳コミュニケーションセンター研修室に於て、株式会社「ユーダ」の代表取締役を

されている上田隆志氏をお迎

トの物として受け入れられるかどうか。それを「ユーダ」は、当事者の立場で要望を受けとめて、改良や工夫を行っている。それら障害者の要望をかなえていくのが仕事であるが、当事者の意識が高いとは言えない。それは、当事者自身に経済力や情報の収集、物流についての知識が少ないためとも考えられる。

自立生活をしていく、これからの障害者は、広く情報を集め、自分にとって何が必要であり、何が希望であるかという確かな認識を持つことが大切である。

必要に迫られた中から要望や工夫が生まれてくる。アイディアは日常の生活の中に潜んでいるが、それを具体的な商品に開発するには、多くの時間とお金がかかる。

北欧では価格に関係なく本人の希望する福祉用具が支給



上田隆志氏

されているが、日本では給付対象者も価格も制限されている。

「ユーダ」で開発した主な商品として、

□玄関リフト作業所の玄関

内に車椅子安全センサー付きの昇降機として設置。

□自動扉リリモコン操作で開閉できる引き戸。

□傾く洗濯機車椅子使用者は洗濯物を取り出しにくい

ので、洗濯機を手前に傾けて(モーター使用)底の物

を取りやすくしている。早川福祉会館内に設置。

□車椅子のリホーム車椅子のフレームの塗り替え、座

席・背もたれ・肘置き部分のシート張替。

漫画風イラストのパネルをみ

ながら、説明を伺った。この後、参加者より日頃感じて

いている福祉器具についての質問に答えていただいたり、

それぞれの感想等が話合われました。

参加者 十八名
司会 山本篤江

(まとめ 富田)

*株式会社「ユーダ」発行
「誰も書かなかった福祉機器の本」定価1380円
TEL 〇一七九四一五四八〇

車椅子は私の足です
山本 篤江

足を怪我したらお医者さんに行きます。それと同じように、私の足でもある車椅子の調子がおかしくなったら、修理に出します。

ところが、救急病院の数が少ないのです。と、言うのはバンク時です。画鋲や釘がタイヤに刺さるとタイヤにとっては、急病と言えるでしょうね。

そして、フレームの故障は腹痛や頭痛と同じようなもの。我慢すれば、何とか出来る。そして、後からゆっくり直してもらえる病気なのです。

車椅子の救急病院が、もっと増えてくれれば安心出来るのに……

町の心ある自転車屋さん、バイク屋さん、車椅子や電動車椅子の救急病院になってください。

特に電動車椅子は小さなアクシデントでも、乗っている者にとっては、動きのとれない重傷患者になる可能性が大きいと思いますから……



いつの日かほんとうに私の足に…

藤田 洋子

この題は、私の願望です。

家の中以外は、片時も離れることなく歩いてまわる私のもう一つの足…。ロフストランドクラッチという名の杖。

私にとって必要欠くべからざるものであると同時に、これ以上邪魔なものもないといったまことに奇妙な存在。

こいつを少しでも邪魔でないものにするために種々の改造をすることにしました。

①クラッチの金属のささくれだちで、靴下を破かないように、高さ調節の無いものにする。

②階段を使用する際、コンクリートにクラッチが当たり金属音がうるさいので、先ゴムから上に二〇センチぐらいのところまで、スポンジのようなクッションを付

ける。

③鞆を、腕を通してクラッチがつけるように、アーム部分に突起を付ける。

④洋服を痛めないように、アーム部分にカバーリングを施す。

といった内容です。

ところが、この改造が大変でした。まず、業者の地域担当の営業マンにその必要性を説明し、協力を求めることから始めなければならなかったのです。

専門の医者でもない一個人から、ロフストの改造を依頼されたのは初めてであつたろうと思いますが、幸い担当者が私の考えに理解を示し、工場の人に相当頑張つて、交渉してくれたようです。

どうしても判つてもらえない改造部位等の説明をするのに、工場の人と私に直に、話をさせてくれたこともありました。ロフストの構造と素材、コスト、技術面等の問題があり、改造にも限界があるため、出来上がりは一〇〇%満足できるものではありませんでした。

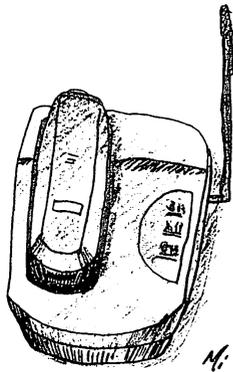
しかし、社会的弱者と言われる障害者のそのまた弱者である一個人の要求に、真剣に耳を傾け、協力してくれた営業マンには

心から感謝しています。

残念なことですが、このクラッチが出来上がって一年後くらいで、担当者が替わってしまいました。

私の場合、幸運なことに理解ある営業の方に会えて、大改造することが出来ました。これはあくまで個人の誠意であり、会社としてこうした方針を持っているわけでは、決してないのが現状です。また、多くの人が業者の「できない」の一言のもとにあきらめさせられていると思います。

これからも、必要な商品に対する知識を深めて、出来るかぎり「使う者にとって、使い勝手のよいもの」を作ってくれるように要求し、業者の「できない」という壁を崩していこうと思うこの頃です。



作る つくる 創る

河合恵子

落葉

秋の日の ピイオロンの
ためいきの 身にしみて
ひたぶるに うら悲し。

鐘のおとに 胸ふたぎ
色かえて 涙ぐむ

過ぎし日の おもひでや。

げにわれは うらぶれて
ここかしこ さだめなく
とび散らふ 落葉かな。

これは上田敏の「海潮音」の名訳
で知られるフランスの詩人ポール・
ヴェルレーヌの「落葉」。またシャ
ンソンには「枯葉」という名曲もあ

りますが、秋は読書をしたり、音楽
を聞いたり、もの思いに耽ったりす
るのにびったり。日頃、筆無精の私
も手紙を書きたくなる季節。筆まめ



な友人の手紙にはいつも小さな折り
鶴が便箋の間に入っています。味
気ない無地の白い二つ折りのカード
を開くと銀杏の黄色い葉がこぼれ落
ちて、思わず御堂筋の近くで開かれ

たその展覧会を見に行きたくなった
こともありませす。牛乳パックで作る
葉書も青葉や紅葉が、さりげなくす
きこんであればとてもおしゃれ。

目黒美術館で開かれたトイ・コレ
クシヨン展ではイタリアのおもちゃ
に「葉っぱをつけよう」というのが
ありました。これは十種類の裸の木
あるいはツタをプリントしたシート
にその木またはツタの葉のスタンプ
を押して絵をつくるというモノ。ス
タンブの色をかえれば季節も変わ
ります。でも本物の葉を摘んで押し
にしたり、あるいは落葉を拾ってき
てそれをシンプルなお木製の額
縁に入れてちよっと部屋の壁に飾
てみるのも素敵。この秋の思い出に
いかがですか？

連載 二十四

高齢者と在宅介護

井元 いもと 真澄 ますみ

五 震災被災地域の住民生活実態

被災地における実態調査より(3)

《調査の結果》

一・震災に際して行った支援

【在宅生活者】

前回に引き続き、震災に際して行った支援の内容を、在宅生活者についてみていきます。

③行った支援・食料や日用品の買い出し

「支援はしていない」が六五・六%を占めているため、三割程度の人々が支援を行ったこととなります。

「近隣の人を支援した」が二二・四%、「親戚を支援した」が一〇・〇%で、この二つが主な支援先となっています。「友人を支援し

た」も六・五%あります。

④行った支援・救助活動

「支援はしていない」が八〇・〇%を占めているため、二割の人々が支援を行ったこととなります。支援先としては、「近隣の人を支援した」が七・〇%あります。

⑤行った支援・家のかたづけ

「支援はしていない」が六九・八%を占めているため、約三割の人々が支援を行ったこととなります。「親戚を支援した」が一・三%、「近隣の人を支援した」が七・六%と、この二つが主な支援先となっています。

⑥行った支援・病人や高齢者の介護

「支援はしていない」が八〇・八%を占めており、約二割の人が支援を行っています。支援先としては、「親戚を支援した」が五・九%あがっています。

⑦行った支援・外出の手助け

「支援はしていない」が八三・六%を占めており、約一・五割が支援を行っています。支援先としては、近隣や親戚があがります。

⑧行った支援・子どもの世話

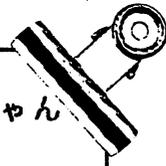
「支援はしていない」が八〇・七%を占めており、約二割の人が支援を行っています。支援先としては、近隣や友人が約三%で、「ボランティアとして支援した」も二・七%あります。

【仮設住宅入居者】

仮設住宅入居者に対して、震災に際して行った支援内容と支援先について、複数回答でたずねましたが、支援をしているケースはほとんどみられません。他者に対して

支援を行う余裕がなかったことがうかがえます。
在宅生活者と同じ項目でたずねましたが、

すべてにおいて九割前後の人々が「支援はしていない」との回答でした。



羨のなやみ

おもしろい 姉ちゃん
私の生活は、性格そのままに
「楽しければそれで良い。明日は明日の風が吹く。ケセラセラ」というような毎日です。
することのない休日にか、
部屋の掃除はいたしません。

でも、いずみ学園の日課では、毎朝清掃の時間があるので、掃除をさぼる子どもに私は注意せねばなりません。

そういうえば、学校にも掃除の時間があるって、さぼると先生達は怒って



いたっけ。

先生達の部屋ってキレイだったのかな？

自分のできないことと、子どもに必要といわれる羨の両方の間で、思い悩んでしまいます。

田 淵 美登利

お 報 告

サロン・あべの11月の出会い

日時 11月8日(土)午後1時～4時

場所 育徳コミュニティセンター研修室

(阿倍野区阪南町5-15-28)

スロープ、車いすトイレ有り

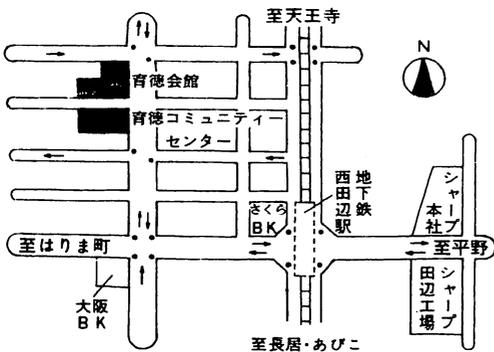
テーマ 「サロンで出会った人達」

パネラー サロン淀川 代表 窪田新一氏

会費 なし

問い合わせ先

TEL 06-6911-1028 (富田慶子)



★心の報い

あるドキュメンタリー番組が、インドネシアのジャングルにある孤立した小さな部落をとりあげていた。そこには、都会からその小学校に赴任した、たった一人の教師がいた。彼は数年間の赴任期間を終えて、その部落から去ろうとしていく。そして、彼が、別れに手をふる時、子どもたちは、まるで小鳥のようにいつせいに泣きはじめてのだった。

これは、彼が、それだけの愛情を子どもたちに、そそいだ結果にちがいがなかった。彼は、子どもたちの泣く声のなかに、自らの愛情の報いを受けたのである。



私は、愛は報われるものだと思う。愛することができれば、愛されるだろう。報われない愛というものはないと信じている。

それは、恋愛にやぶれた若者たちには、信じがたいことかもしれない。彼らの熱い愛情に、相手は応えてくれなかった。だから、彼らには、愛が必ず報われるとは考えにくいのだろう。

しかし、恋愛のなかの愛は、本来、利己的なものだ。利己的だから価値が低いというのではない。ただ、利己的なものは、相手から応えてもらえない場合がある。当然なのだ。

家族の愛情も、かなりの部分が利己的なものである。親子の葛藤が起きるのも、親が子を想う心、子が親を想う心に、利己的なものがあるからだ。だから、親の愛は、かならずしも子から報われることはない。子が、親に報いるのは、親の利己的ではない愛の部分にだけなのである。ジャングルの小学校にたった一人赴任

した教師は、子どもたちに、きっと大きな愛情をそそいだのだ。その愛情には利己的なものは、ほとんどなかったのではないか。もし、その学校が都会にあったら、彼は子どもたちに慕われることによつて「良い教師」という名声を楽しんだにちがいない。しかし、そこは、外界との交通がほとんどないジャングルの奥地だった。たとえ「名声」を得ても、その土地から外に彼の評判が伝わることはない。子どもたちも、その部落からは、ほとんど出ることなく一生を終えるのだろう。とすれば、彼が、子どもたちにどんなに愛情をそそいでも、その土地を去れば、彼の利己心を満足させることはほとんどないにちがいない。しかし、だからこそ、彼は利己的ではない愛を、子どもたちにささげることができたのである。自分自身を満足させるための利己的な愛情は、報われることは少ない。しかし、相手から報いを求めない、利己的ではない愛は、必ず報いられる。なんと皮肉な

ことか。求めるとき報いられず、求めないとき報われる。人は、自分にそがれた愛が、相手の利己心から出たものかどうか、すでに幼いころから見分ける力をもっているのかもしれない。
家族から別れ、単身で外界から隔てられた小さな部落に派遣された教師は、利

美智子のこんな話

岸田 美智子

二次障害を考える集い

職場や作業所で頑張っている皆さん！

あなたやあなたの周りで首の痛みや手足のしびれなどの二次障害に悩んでおられる

方はいませんか？

己的な愛情をもつ機会をなくしたという意味で不運であった。しかし、そのために彼は、利己的ではない愛を子どもたちにもそぐことができ、その報いを受けた。とすれば、彼にとっては、それが幸運でさえあったのだ。
私たちに利己的な愛情を与える対象が

この二次障害に悩んでいる仲間が施設でも地域でも、増えてきています。

一度この問題をじっくり、皆さんと考えてみようと思い、私達ライフ・ネットワークでは「二次障害を考える集い」を開くことになりました。

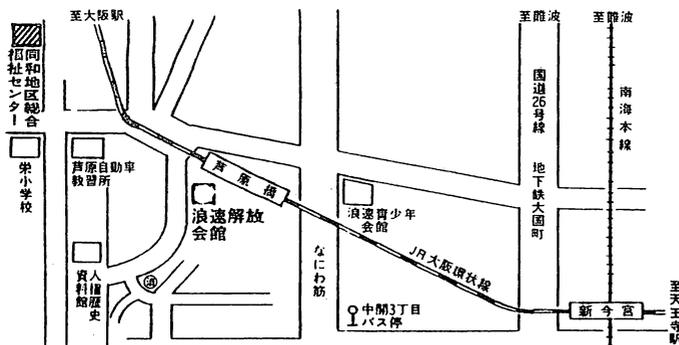
当日は、二次障害の対処法の一つとしてたくさんの方の障害者の頸椎の手術を手掛けてこられた、原田先生(大阪警察病院 整形外科)をお招きしています。

先生の講演をお聞きしながらもう一度、この二次障害を、障害者の生活との関係を考えてみたいと思います。

一人でも多くの皆さんの参加をお待ちしています。

当日、参加される方は前もってライフ・

ないとき、きっと外の人の目には、孤独で不幸な毎日が映るにちがいない。しかし、それは、生きる姿勢さえ変えれば、平凡な人間にでも利己的ではない愛をもてる心豊かな時期になる。その日常は、もつとも確実に報いを受けている恵まれた日々となるのである。
(知)



ネットワーくまでご連絡下さい。

記

日時：一九九五年十月二日(日)

午前十一時三〇分～午後四時

参加費：三〇〇円

場所：大阪府同和地区総合福祉センター

TEL 〇六―五六―一四一九三

連絡先：ライフ・ネットワーく

〒五五 大阪市住吉区大領五十一十六

TEL 〇六―六〇七―八二六〇

FAX 〇六―六〇七―五五〇三

*昼食は各自で持参して下さい。

11月

ジュール・ベルヌが「月世界旅行」を発表した百年後の一九六九年、人類が初めて月面を歩いた。それから四半世紀、いまでもロマン多い天体であることに変わりはない。なにがなんでも「かるた」です。

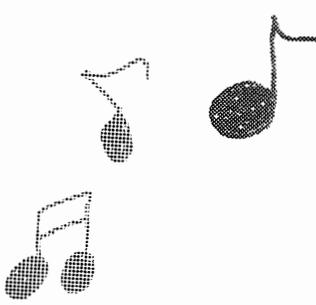
郵券 一枚 一五〇円

朗読テープのご案内

山本敏子さんのご協力で、ハサロン・あべのV紙二一―号の録音テープが出来ました。バックナンバーは三九号から、二一―号の分があります。五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本にそれぞれ収録されています。又、絵本「未知の記憶」(作：絵：中川勝彦)、「ラジオたんぱ」六月四日(日)放送のハサロン・あべのV五月の出会い取材テープ(三〇分)もあります。

いずれもご希望の方には、タビングをしますので、富田までお申し出下さい。

(06) 〇六―六九―一〇二八



奥田真祐美 シャンソンリサイタル
～愛をうたう時～

月日 11月11日(土)
開場=18:00 開演=18:30
場所 サンケイホール(大阪文化祭参加)
前売 4000円
主催 サンケイ企画
後援 関西テレビ放送
お問い合わせとお申込み先
TEL・FAX (06) 692-8774
奥田真祐美

感謝します

カンパ、テレホンカード、冊子等のご寄贈。

一筆箋、絵葉書等、お買い上げありがとうございました。

お礼を申し上げます。

芦刈逸子、今西美奈子、大北清子、

岡 賀寿子、カプリース、阪田富子、

崎本ヒサエ、田中美佐保、ホープの会、

(匿名三名)





サロン隣組ニュース

ヘルスキーパー；宇野友紀子氏
宿南 勝氏

■「サロン淀川」

○サロン淀川11月の出会い

日時・11月19日(日)

午後1時30分～3時30分

場所・淀川区在宅サービスセンター「やすらぎ」

[大阪市淀川区三国本町2-14]

内容・「障害者とともに生きる」

—かんでんエルハートからのメッセージ—

☆日々の仕事のなかからちょっと良い話

○重度障害者に働く場を(ビデオ)

『第3セクター』の多様性と可能性

○かんでんエルハートの概要

講師・株式会社かんでんエルハート

事業部副部長＝中井 志郎氏

エルハートからの出席者

会費・なし

問い合わせ先・☎06-306-2900

大阪市淀川区社会福祉協議会

ボランティア・ビューロー

■「ウイズ東淀川」

○「ウイズ東淀川」の出会い

日時・11月12日(日)午後1時30分～3時

場所・東淀川会館3階(エレベーター・車いす利用可)

内容・「障害者とスポーツ」

女子アイスホッケー「めざせ国体参加」

講師・若林 鈴枝氏

会費・なし

問い合わせ先・

電話06-340-3082(鈴木昭二)

FAX06-320-4004(宮脇 均)



第52回国民体育大会
おおさか ふれ愛 夢づくり
なみはや国体



第33回全国身体障害者スポーツ大会
ふれ愛びっく大阪
ときめいて今 はばたいて未来

FROM EDITOR

編集後記

横浜の、河合恵子さんから「作る つくる 創る」の原稿
といっしょに、お便りが届きました。「とても気持ちのよ
い秋の日ですが、いかがお過ごしでしょうか? (略) 西

田辺駅が便利になったとのこと、サロン紙で知り、うれしくなりました。天王寺・梅田も新しいビルや地下街が出来て、とても変わったことでしょう・・・ね。」 (石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.112[95.10.21 発行] 定価¥100.

代表；上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365

連絡先；富田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028

表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子

印刷；セルフ社〒546 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F

TEL06-719-8212 FAX06-719-8213